

同志社女子大学「DWCLAデータサイエンス・AI教育プログラム」自己点検評価・報告書

下記の到達目標において、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に関する活動に関する自己点検・評価結果を示す。

- 【到達目標】
- ・私たちの社会とデータの関係を倫理的・制度的・技術的な側面から考えることを通して、データサイエンスの意義を理解し、データに基づく課題解決の基礎的な方法論を修得する。

・表計算ソフトウェアの利用・実習を通して、データの性質に応じて適切な分析手法を選択し、基礎的な集計と統計解析ができるようになる。

- ・評価日

:

2023年2月20日
- ・評価組織

:

教務部主任会
- ・評価対象

:

2022年度秋学期「データサイエンス基礎」に関する取り組み

自己点検・評価の視点	取り組みと評価
1. プログラムの履修・修得状況	数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度の趣旨を踏まえ、2022年度秋学期、共通学芸科目区分に選択科目として、「データサイエンス基礎」を開講した。文系理系を問わず全学部・全学科の1年次生1,520名を対象とし、1,098名の学生が受講（受講率72,2％）。最終的に1,021名が修了した。2023年度は2022年度と同様に「データサイエンス基礎」を開講する予定である。
2. 学修成果	授業支援システム（manaba:本学愛称「マナビー」）を用いた遠隔授業（オンデマンド型）で授業を実施した。各授業回は、毎週月曜日に授業動画を公開し、水曜日までに受講生からの質問を受付、金曜日までにそれらの質問に対する回答を行ったうえで、各回の授業内容に関する課題が課され、学生は翌週月曜日までに課題を提出するという流れであった。出題される「課題」を各回の提出締切日までに提出することで授業の「出席」とみなし、課題を提出しなかった場合は「欠席」として取り扱っている。 授業の前半（第1回目～第7回目）は、学生の50～60％が難易度について「ちょうどよい」と回答、課題の提出率は平均94％となっている。授業の後半（第8回目～第15回目）は難易度もあがり、課題の提出率は平均90％とやや低下した。 授業の難易度は、特にクロス分析、検定の内容を扱った11回目、最終課題のあった15回目ではアンケート結果においても「難しい」の回答が多くなっている。課題の提出率もこの2回と最終課題準備にあたる14回目で低くなっており、難易度が高いため提出を断念した学生がいると考えられる。
3. 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	全15回の授業終了後のアンケート調査において、各回の授業内容の理解度や、Excelに関する知識とスキル、データサイエンスやAIへの関心度に関する学生の評価を収集した。その結果、授業動画の内容は「わかりやすかった」と評価され、繰り返し動画を視聴しつつ、授業内容を理解したうえで、課題に取り組む学生が多かったことが確認できる。 学生のコメントも、「分析の基本となるExcelについて、最初は苦手意識があり不安であったが、繰り返し授業動画をみることで理解を深めることができた。」「遠隔（オンデマンド）授業だったので、効率的に学ぶことができた」「私たちの社会とデータの関係をさまざまな角度から考え、分析することを通して、データサイエンスの意義を理解することができた。」等、今後のデータサイエンス・AIに関する学びだけでなく、自分自身の専門分野にも活かそうとする姿勢がうかがえた。 授業アンケート（回答者数482名／履修者数1098名／回答率43,9％）の結果を見ても、「この授業は全体として満足できる内容でしたか」という問いに対して、89.2％の学生が「そう思う・ややそう思う」と回答。「あなたは到達目標を達成できたと思いますか」という問いに対しても、83.8％の学生が「そう思う・ややそう思う」と回答していることから、受講生の授業に対する満足度・理解度も高いことが確認できる。
4. 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	本プログラムで開講する「データサイエンス基礎」は全学部・学科の1年次生を対象としており、「選択」科目であるが、できる限り優先的に受講するよう履修指導を行っている。その結果、社会システム学科（313名）98％、メディア創造学科（117名）91％、人間生活学科（86名）93％と受講率が90％を超える学科も多く、1年次生の約72％（1098名／1520名）の受講となっている。また、大学案内や本学Webサイトで本プログラムを案内しており、Webサイトにおいては、科目の目的や内容とともに受講生のコメントも紹介している。
5. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	2023年度は「データサイエンス基礎」は「選択」科目での開講となる、各学科での履修指導および2022年度の履修結果（「アンケート結果」「履修生の声」）等を新1年次生に周知することで、履修率100％をめざす。また、2024年度以降はカリキュラム改正を行い、「データサイエンス・AI科目区分」を設けて、卒業要件に係る選択必修科目として「データサイエンス・AI基礎」および「データサイエンス・ICT活用基礎」を開講する予定である。上記の「基礎」科目群の2科目に加えて、「実践」科目群として「データサイエンスのためのAIプログラミング入門」「データサイエンスのための統計入門」「ことばのデータサイエンス」「実践から学ぶAI入門」の4つの選択科目を開講する予定をしている。